



事業内容：食品廃棄物のリサイクル処理および、有機肥料の製造・販売



株式会社熊本清掃社 バイオプラザなごや【食品リサイクル】

名古屋から生ごみを無くす

「名古屋の生ごみを無くす」という共通の意識を社員全員が持ち、仲間とともに環境に貢献することができる会社。熊本清掃社が開発したバイオプラザ式リサイクル処理システムは、ごみ処理に困っている多くの人々から必要とされる魅力を持っている。

★ 目指す企業の姿

1. 理念

バイオプラザなごや独自のリサイクル技術を生かして、生ごみから作り出す「グリーンサブリ」という栄養価の高い有機肥料を開発している。グリーンサブリを必要としているすべての人に良いと思ってもらえるように、事業を突き詰めている。

2. 経営戦略

戦略として「良質な有機肥料を作る技術」「近隣住民への配慮の技術」「製品を求めている人すべてに届けられる技術」の3つの技術を確立している。1つ目は運ばれた生ごみの分別。人の手や機械を使って何度も丁寧に分別を行い、良質な有機肥料作りに取り組んでいる。2つ目は脱臭技術。近隣住民の迷惑とならぬように技術を駆使し、徹底されている。3つ目は販路の獲得。製品を必要としているユーザーや自治体との関係を大切に、ニーズに応えている。

3. ビジョン

バイオプラザなごやが目指している先は「名古屋から生ごみを無くす」こと。名古屋市で1年間に排出される事業系生ごみは約8万t。現在、その4分の1はバイオプラザなごやでリサイクル処理されているが、7年後には2分の1まで量を増やすことを目標として掲げている。

★ 代表取締役からの一言



「生ごみをなくしたい」と考え、バイオプラザなごやの力を必要とさせていただいている地域へさらに貢献していくためにも、力を貸してほしいと考えています。環境問題を自分の問題として一緒に取り組みましょう。

代表取締役
村平 光士郎

★ 学生から見た企業の魅力

職場の雰囲気

一人一人のつながりが強く、チームワークの良さは他社には負けないと言います。職場では、困っている人がいたら自然に助け合いが生まれるような良い雰囲気で、先輩・後輩関係なく全員に対して「ありがたい」と思うことができます。

働きがい

「自分の力で実際にごみを無くせている」、「環境に貢献することができる」と実感できることに働きがいを感じているそうです。また、子どもたちの将来のためにもより良い環境をつくっていきたくて日々努力していると言います。

将来性

この会社での一番の成長は、技術を1から学び、自分でカタチにできたことだと言います。意欲があれば働いている年数に関係なく、新しいことを学んでいける環境が用意されているため、常に向上心を持って挑戦しながら働けるそうです。

先輩社員からの一言



技術職
都築 勇太

社員一人ひとりを大切にしている会社なので、自分のやりたいことにチャレンジできます。食品リサイクルという事業を通して「自分の力」で環境に貢献でき、働きがいがあります。



生ごみ処理に困っている人々のニーズに全力で応えている、なくてはならない企業だと実感できました。社長をはじめ社員全員が、常にチャレンジ精神を持ちながら尊敬しあって働いており、私には輝いて見えました。

金城学院大学
人間科学部3年
梅迫 菜摘



【企業情報】 ①所在地:名古屋市港区潮見町37-10②資本金:300万円③従業員数:96名(全社)④設立:昭和46年8月27日⑤売上高:16億2千万円⑥初任給:大卒 208,000円~⑦福利厚生:社会保険(健康保険・雇用保険・労災保険)、福利厚生(社員旅行・慰労会)⑧休日:日曜・日曜とその他月に2~3日程度(年間休日85日)

⑨ 最近の雇用状況(30歳未満の若年雇用者)

	22年度(2010年)	23年度(2011年)	24年度(2012年)
採用人数	5名	4名	4名
離職者数	0名	4名	2名